

矢部清流学園
学校だより 14号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自ら課題に向き合い、自分の思いや考えをしっかりと考える子どもの育成

令和6年3月7日 文責 古川 志乃

旅立ちのとき…

9年生は、3月5日(火)に公立高等学校の入試を終え、明日(3月8日)、いよいよ卒業式を迎えます。9ヶ年の義務教育を修了する4人の卒業生が、将来の夢を語り、かわいい後輩たちに見送られ、この学び舎を巣立っていきます。予測不可能で困難な時代だからこそ、これからも人と人のつながりを大切に、この矢部清流学園で培った貴重な経験を糧に、新しい場所で輝いてほしいと願います。

9年生に贈る会 3月1日(金)

3月1日(金)、1～8年生が、卒業を迎える9年生に感謝の気持ちをこめて、「9年生に贈る会」を開きました。「9年生の思い出に残る時間をつくろう!」と清流会検討委員会、放送計画委員会を中心に各学年で内容を考え、そして、前日には前期課程児童で会場を飾り付け、担当者はリハーサルと、頑張って準備しました。9年生に関する〇×クイズ、ジェスチャーゲームをみんなで楽しみ、プレゼント渡しでは、心のこもったメッセージ(善学科)や9年生が大喜びするマツケンサンバと100%勇気のダンス披露(善遊科)…9年生が終始笑顔だったことが何より嬉しかったです。9年生は、この学校での思い出を忘れずに、新たな環境でしっかりがんばってください。1～8年生は、4月から学年が1つ上がります。9年生から受け継いだよき伝統を守り、育て、さらに楽しい学校をつくっていきましょう。



9年 地域おこしPR活動

2月16日(金)

本校の特色は、何ととっても地域学校協働本部と共に創りあげる様々な体験活動、協働活動です。矢部の森林・環境保全を考えるために行ってきた林業体験(植林、枝打ち、下草刈り)、大仙自然塾、地域産業を支える方々につながる摘茶体験、田植え、稲刈り、原木しいたけ栽培、ゆいのもり訪問、保育実習等、さらに郷土の歴史・文化を学ぶ浮立伝統継承活動、白馬の媛の朗読劇、公卿唄等、1年生から系統的に、計画的に取り組んできました。その集大成ともいえるのが、この9年生の「矢部村地域おこしPR活動」です。6月から、移住者の方の話を聞いたり、他地区在住の方にアンケートをとったり、矢部の魅力をPRしたい場所を実際に訪れて動画をとったりしながら、準備をしてきました。

2月16日(金)、矢部支所長+市役所職員、矢部公民館長、地域学校協働本部の方々に来校いただき、子ども達は、自分たちが作成したチラシやPR動画を紹介しました。そこで、いただいたご意見を参考に、チラシや動画を推敲・修正し、八女市内の官公庁や物産館等へ出向き、チラシ(PR動画紹介)設置を依頼しました。

下のQRコードからアクセスできますので、是非、ご覧ください。



【チラシのメッセージより】

「出逢い」よもぎ饅頭や栗饅頭、ゆずごしょうなどの矢部村の特産物が販売されています。特に、よもぎ饅頭は、矢部村で採れるよもぎをふんだんに使った饅頭で、矢部村ならではの味として親しまれています。

「八女津媛神社」八女の地名が起ったと言われる女神をまつた1300年もの歴史がある神社です。五穀豊穡、無病息災などを祈願し、5年に1度、八女津媛神社で伝統ある「浮立」が公開されます。

8年生のときの
後期の委員会は
けんこうせいかつ
である?

「合同音楽」 国際理解教育講師派遣事業 2月7日(水)

生の楽器の音色を味わうとともに、奏者の背景にある文化や歴史について知ることにより、異文化への興味・関心を高め、心豊かにすることができるようにするために、福岡県国際交流センターから2名の講師をお招きしました。また、国際交流事業を熱心に取り組んでいらっしゃる塩澄さん(広川町在住)にも、所有のたくさんの民族楽器や民族衣装等を展示していただき、子ども達は実際にそれらに触れて楽しむことができました。

【講師】 日下智恵子(クサカ チエコ)さん 中国の音楽(二胡)
 石橋ヘルミンダワティさん インドネシアの音楽(アングレン)
 ※ 塩澄文子(シオズミ フミコ)さん 海外の民族楽器と民族衣装



【子どもの感想より】

- ・今日はいんそうをきいて、すごくいい音色だなと思いました。ニコはとってもきれいな音でとてもすごいなと思いました。ニコはへびの皮を使っているのを知って、ちょっとだけこわかったです。アングレンは、昔というか、まつりのような感じの音だなと思いました。アングレンをえんそうしてみても、(鍵盤の音階が)どこかわからなかったけど、できたのでよかったです。どちらもすてきな音色でした。ぼくも、リコーダーですてきな音色が出せるようにがんばりたいと思います。(5年 K.Mさん)
- ・二胡とアングレンの楽器を見て、日本の楽器と似ている形だけど、音がちがったりして、びっくりしました。二胡は2本しか弦がなくて、空洞から音を出していて、そこがスピーカーみたいでした。二胡は、感覚でドレミファソラシドがひけてすごかったです。アングレンはどんぐりが転がるような音でかわいかったです。マサイ族の衣装を着て、自分が強くなった気分でした。全て楽しかったです。(6年 K.Kさん)
- ・二胡の音色はバイオリンに近いと感じました。弦を押さえる場所で音を変えていて、その押さえる場所は経験を積んで、勘で押さえているとおっしゃっていて、とても驚きました。中国の正月の歌や「雪の華」なども演奏していただき、とてもきれいな音色だなと思いました。インドネシアのアングレンは木管楽器に近い優しい音色でした。竹でできた筒状の形で、長さによって音が違いました。左右に揺らすとカラカラと音が鳴りました。実際に、みんなでドレミの歌を演奏しました。世界の楽器について知る良い機会になってよかったです。(9年 N.Nさん)

放課後の学習支援 ありがとうございました



寺子屋(1~3年生のドリル学習)、放課後学習(全学年の英会話)にご指導いただいた栗原幸子さん、鬼塚八千代さん、中司薫さん、砂川満さん、砂川優子さん、1年間大変お世話になりました。

本年度の活動最終日、子ども達にご指導いただいた方々にお礼を伝え、今後の学習に意欲を高めていました。

植林体験(1・2年生)

枝打ち体験(3・4年生)

2月14日(水)

2月14日(水) 善遊科の子ども達は矢部の山々へスクールバスで向かいました。そして、1・2年生は植林体験、3・4年生は枝打ち体験をしました。地域学校協働活動の一環として取り組んでいる体験学習ですが、森林・環境保全を考える上でも、矢部を支える産業について考える上でも、とても大切な学習です。ご指導いただいた森林組合、愛林クラブの皆様、本当にありがとうございました。

杉の苗木が大きく成長するには、70年もの年月がかかります。山を見上げながら、自分たちが植えた木々の成長を楽しみにするとともに、豊かな自然を守っていくことのすばらしさを感じてくれることでしょう。

先月、八女市子ども議会が行われましたが、そのときに、E.Hさんが「学校で、植林や枝打ち体験をしたことがあります。山が荒れていますが、林業に従事する人の数が少なく、豊かな自然を十分に守れていないと思います。八女市としては、山を守るために、どのような対策を考えていますか？」と一般質問をしました。体験学習から学びを深めていることを嬉しく思います。

